

# 一般社団法人福岡県学校歯科医会 News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

## Vol.3

2018年4月30日発行

### CONTENTS

| 特集 学校歯科健診のために                 |     |
|-------------------------------|-----|
| ① ハンディノートの活用 .....            | 1   |
| ② 歯科健診時の留意事項 .....            | 2   |
| ③ 今年度の改正に伴う歯科健診のポイント .....    | 2~3 |
| 制度調査委員会紹介 .....               | 4   |
| 平成 29 年度マウスガード講習会 .....       | 4   |
| 平成 29 年度臨時総会 .....            | 5   |
| 第 94 回日本学校歯科医会報告 .....        | 5   |
| 平成 29 年度学校歯科医生涯研修制度基礎研修 ..... | 6   |
| 表彰関係 .....                    | 7   |
| 会務報告 .....                    | 8   |
| 編集後記 .....                    | 8   |

### 特集① ハンディノートの活用

学校歯科医ハンディノートは平成8年3月の初版以後、二版、三版、四版と重ね、本年3月に五版の発刊の運びとなりました。

本書は学校歯科医が業務を遂行するにあたり、その手引き書的な役割が出来ればよいと考えており、会員の手元におかれて活用していただければと考え、改定版を発刊する運びとなりました。

その内容としては、まず学校歯科保健は歯科保健管理・歯科保健教育・組織活動の三本柱に区分されます。

次に歯科健診についてですが、日学歯の指針によりますと、CO（要観察歯）・GOの鑑別診断が重要です。顎関節の審査、歯列・咬合の審査も見逃さないようにする必要があります。

歯・口の健康診断後の事後措置としては、子供たちの課題を解決するために、CO・GOの事後措置などを遂行することです。

統計調査の目的は学校関係者として、科学的根拠に基づいた健康状態の把握・評価をする事です。

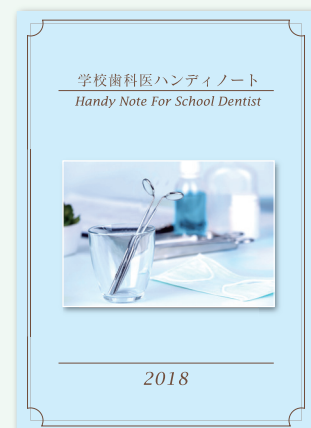
むし歯の原因・その対策、むし歯はpHの変化に大きく左右され、臨界pH5.5以下になると脱灰が始まります。歯質の強化にはフッ化物が有効です。

清涼飲料水に含まれる糖分の量とpHについて考えると、コーラ等の炭酸飲料水は歯にとっては「百害あって一利なし」です。

歯・口の外傷には歯・歯根の破折、脱臼、顎骨骨折等があり、マウスガードはその予防と軽減に効果があります。

咀嚼と食育については、よく噛むことは、肥満防止・脳の発達・歯の病気の予防・ガンの予防・全身の体力向上等に効果があります。

ハンディノート第五版が読者のお役に立てれば、幸いです。



## 特集② 歯科健診時の留意事項

タービンの使い回しなどがメディアで取り上げられて指摘される昨今、健診における器具の滅菌やグローブの使用についても指摘される可能性があります。また、CとCO、GとGOの区別、健診を受けた人への指導によってはトラブルの元になり得ると思われます。

歯科健診時に理解しておいてほしい事項を記載します。

### ①器具の感染対策をどうやっているか

器具を用意する組織（自治体や歯科医院など）によってレベルが異なっていると考えられます。

滅菌レベルなのか、消毒レベルなのか…

「うちは昔からちゃんとやっています。」と、いまだに伝統の煮沸消毒をおこなっている可能性もあります。

日本学校歯科医会の指針では「器具は滅菌したものをを用いる」としています。

可能であれば、ディスポーザブルの器具の使用が理想的です。



### ②CとCOをどう区別して、どう指導しているか

例えば臼歯裂溝の小さな黒変に対して、ここからは削るべき、ここまでは様子を見るべきというのは健診する先生に委ねられています。

健診ではCと指摘されたので歯科医院に行ったら、これはCOだから様子を見ましょうということにもなり得ますし、逆に健診ではCOと指摘されたのでフッ化物塗布にでもと歯科医院に行ったら、早く治した方がいいと言われてC処置をするということにもなり得ます。

あくまでも健診は確定診断ではなく、スクリーニングであるということを周知し、指導をしていただきたいと思います。

### ③GやGOをどう区別して、どう指導をしているか

健診するにあたって、どうしてもカリエスに注意が向いてしまいがちである。歯肉炎に対してもしっかり健診していただき、GとGOの区別は学校歯科医ハンディノート等を参考に健診、指導していただきたいと思います。

### ④グローブを1人1人、健診する度に新しいものに交換しているか

実際に口腔内をグローブで触わってなくても、問題になり得ると思います。日本学校歯科医会の指針では、「口腔内はダブルミラーを用いるなどして、粘膜には直接手指を触れない」、「病的な皮膚に触れた場合は必ずグローブを交換するなどして次の子供を診るようにする」、とあります。

今一度ハンディノートの内容を確認していただいて、健診に臨まれるといいかもしれません。

## 特集③ 今年度の改正に伴う歯科健診のポイント

今年も、平成30年度の学校歯科健康診断が4月1日より6月30日の期間で始まります。

### <健康診断事項の改正点>

CO要相談の新設……COとCO要相談・・・学校歯科医所見欄に両方記載の可能性有  
歯列咬合の「反対咬合」の名称及び「2」の判定基準の変更

保健調査実施

(改正前)…「小学校入学時及び必要と認めるとき」 (改正後)…「小・中・高・高専においては全学年においてとする」

事後措置（健康診断結果通知）

疾病異常が認められず、健康と認められる児童生徒についても、事後措置として健康診断結果を通知し、当該児童生徒等の健康の保持増進に役立てる必要があります。

### <改正に係る注意事項>

詳細については、昨年福岡県学校歯科医会が発行しました「学校歯科健康診断早見表」を参考にしてください

いですが、特に理解しにくい事項を報告します。

## 1.CO（要観察歯）

学校での保健指導だけでは対応が難しく、歯科医療機関での専門的管理が必要な場合には、所見欄に「CO」ではなく「CO 要相談」と記載する。（統計上はCOと同一）

「主として視診にて明らかなう窩は確認できないが、う窩の初期病変の兆候（白濁、白斑、褐色斑）が認められ、その状態を経時的に注意深く観察する必要のある歯」

### 具体的には

- (1) 小窩裂溝において、エナメル質の実質欠損は認められないが、褐色、黒色などの着色や白濁が認められるもの。
- (2) 平滑面において、脱灰を疑わしめる白濁や褐色斑等が認められるがエナメル質の実質欠損（う窩）の確認が明らかでないもの。
- (3) 「CO要相談」の新設……☆学校歯科医の所見欄に「CO」と書かず「CO要相談」と記入する。

例えば、隣接面や修復物下部の着色変化、(1)や(2)の状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療機関との連携が必要な場合に該当する。

※「CO」は経過観察、「CO要相談」は受診のすすめ

※CO、シーラント処置歯は書類上では健全歯として扱う。

## 2. 歯列・咬合2

（改正前）反対咬合（3歯以上の反対咬合）……………（改正後）下顎前突（前歯部2歯以上の逆被蓋）



### <学校歯科医所見欄について>

- 1 歯肉の状態を診査して要観察「1」の場合必ずGOと記入
- 2 歯肉の状態を診査して要精密検査「2」の場合必ずGと記入
- 3 歯石の沈着が認められるが、歯肉の炎症が認められない場合 Gとせず、「0」と判定し「歯石沈着」あるいはZSと記入
- 4 歯式のなかにCOがあれば基本的にはCOと記入

学校での保健指導だけでは対応が難しく、歯科医療機関での専門的管理が必要な場合には、所見欄に「CO」ではなく「CO 要相談」と記入する。（COとCO要相談）



なお学校歯科医は、平成7年度よりCO、GO、Gは必ず健診することになっています。

学校歯科医は公務上の身分を保障されており、必ず健診に出席しなければなりません。

### <学校歯科健康診断とは>

学校歯科健康診断は、健康の保持増進を目的として、教育的なねらいをもって、適切な事後措置を行う必要のある児童生徒を選ぶこと。確定診断ではない。

スクリーニング（ふるい分け診査）によって「健康」、「定期的な観察が必要」、「専門医（歯科医師）による診断が必要」に区分する。

### スクリーニングとは

- (1) 保健指導や予防措置によって健康増進を図る段階→「健康」：0
- (2) 引き続き観察下にあつて積極的な保健指導と予防処置の組み合わせを行うことにより、疾病の状態に進行させないことが可能な段階→「定期的な観察が必要」：1
- (3) 医療機関により状態の診断を受け、臨床的な対応が必要な段階→「専門医（歯科医師）による診断が必要」：2



## 制度調査 委員会紹介



制度調査委員会は担当理事に柳迫、委員会メンバーは坂田人志委員長をはじめとして、古賀祥朗副委員長、鷹野雄司委員、石川毅彦委員の4名です。

主な事業としては、福岡県 歯・口の健康診断結果調査報告書の作成ですが、学校歯科保健におけるの保健管理を担う委員会です。

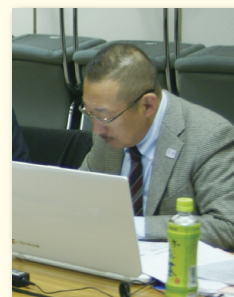
健康診断結果調査報告書の作成にあたっては、各学校から提出されたデータを集計し、これを素データとして項目ごとに分析を行い、概要と考察を書いて報告



書が完成します。膨大なデータの集計、分析には大変な時間と労力を要しますが、会員の先生方のお役に立てるものなら努力も惜しみません。健康診断の意義とは診断結果を分析し、適切な事後措置を実施することで、児童生徒が自分の健康状態を知り、自ら健康増進を目指す糸口となることを目的としております。

是非この報告書をご覧ください。担当校の校長先生、養護教諭等と共に学校歯科保健活動にお役立て下さい。また、保健管理部としての事業は、健康診断時における器具の滅菌、グローブの使用やダブルミラーによる健診等の問題点を調査、研究するとともに、学校におけるフッ化物応用等の学童期むし歯予防対策の調査・研究も行っております。これらのことについても、ニュースレターや会報等で順次報告していきたいと思っております。

制度調査委員会  
担当理事 柳迫 正俊



## 平成29年度 マウスガード講習会

普及指導委員会 理事 一之瀬 達也

平成30年1月20日(土)午後3時から福岡県歯科医師会館4F404研修室で、福岡県学校歯科医会普及指導委員会主催のマウスガード講習会を開催いたしました。

学校内での活動、特にクラブ活動において歯、口の外傷は増加傾向にあり、学校歯科医として、外傷予防の普及活動や受傷した児童生徒への迅速、適切な処置についての知識、手技を習得することは必須であります。

また、スポーツ活動においてはマウスガードを着着することで怪我の防止、軽減が図れることを学び、カスタムメイドタイプのマウスガードについての知識、作製法を身につけることは学校歯科医として重要だと思われます。

そのような趣旨に基づいて今年度もこの講習会が開催されました。

講習会の前半は、外傷時の対応・処置、マウスガードの役割について講義が行われ、後半はマウスガードの作製法を解説後、実際に参加者ご自身の模型でマウスガードを作製して頂くハンズオンセミナー形式で実施しました。実際に作製したマウス



ガードを着着することで理解、実感できることも多く充実した実習になったと思います。なお作製したマウスガードはお持ち帰り頂いております。

まだ当講習会に参加していない先生は、是非参加してみてください。

そして子供たちの事故予防と軽減に努めて頂ければ幸いです。今後もマウスガードの有用性を普及啓発していく所存でございますのでよろしくお願い致します。





1. 点 呼 代議員32名中31名出席
2. 開 会 副会長 三 箇 正 人
3. 会長挨拶 会 長 杉 原 瑛 治
4. 物故会員の弔慰
5. 平成29年度表彰
  - (1) 会 長 表 彰
  - (2) 会 員 表 彰
  - (3) 特 別 表 彰
  - (4) 功 労 者 表 彰
  - (5) 団 体 表 彰
  - (6) 褒 賞 状 授 与
6. 議事録署名人の指名
 

議 長 原 野 啓 二 (遠賀中間)

東 地 区 菅 義 浩 (田 川)

北 地 区 山 本 英 世 (門 司)
7. 報 告
  - (1) 会 務 報 告 専務理事 平 瀬 久 義
  - (2) 会計現況報告 理 事 松 田 宏 一
  - (3) 監 査 報 告 監 事 吉 川 容
8. 決議事項
 

第1号議案 総会議長・副議長の選任について 可決

第2号議案 顧問の委嘱について 可決

第3号議案 平成30年度事業計画について 可決

- 第4号議案 平成30年度一般会計予算について 可決
- 第5号議案 平成30年度基本財産積立金特別会計予算について 可決
- 第6号議案 平成30年度職員退職積立金特別会計予算について 可決
- 第7号議案 平成30年度福岡県学校歯科医会会費・賦課徴収及び日本学校歯科医会会費賦課徴収について 可決

9. 協 議
10. 閉 会 副会長 須ノ内 茂 子



## 第94回日本学校歯科医会臨時総会

常務理事 柳迫 正俊

平成30年3月28日、日本歯科医師会館において第94回日本学校歯科医会臨時総会が開催された。本会からは代表会員として、杉原会長、須ノ内副会長、平瀬専務、柳迫の4名と、日学歯理事として一之瀬理事、日学歯監事として三箇副会長が出席した。

川本強日学歯会長の挨拶では、この総会が日学歯の新たな第一歩となり、本会の発展を図るべく精一杯尽力していく決意を述べられた。続いて来賓として文部科学省の松崎美枝健康教育食育課健康教育調査官、堀憲郎日歯会長、立花司日歯連盟副会長が挨拶を述べられた。会長表彰では、表彰者286名のうち45名の出席者が表彰された。そのあとは日程に従い、特別委員会報告、会務報告、会計報告、各委員会報告、中間監査報告があった。続いての事前質問においては、学校歯科医のテレビでの発言、フッ化物洗口についての日学歯の見解、就学時健康診断マニュアル、生涯研修制度、入会対策等の質問に対して予定の時間をオーバーするほどの活発な議論がなされた。

休憩のあと議事に入り、第1号議案 平成30年度事業計画、第2号議案 平成30年度収支予算が上程され、質疑応答の後、賛成多数により可決された。続いて定款の変更についての協議が行われたあと、全国学校歯科保健研究大会の案内があり、閉会となった。





平成30年2月3日（土）午後2時50分～6時、福岡県歯科医師会館5階視聴覚室において、「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会 併催 福岡県学校歯科医新任研修会が開催されました。今年度も、福岡市学校歯科医会との共同開催となり、106名の先生方にご参加いただきました。

「学校歯科医生涯研修制度」とは、「全ての学校歯科医が歯科医師としての専門性を活かしながら教育者としての資質を備え、積極的に学校歯科保健活動を推進し、生涯にわたってその資質の維持と向上を図り幼児、児童生徒の歯・口腔の健康増進に貢献すること」を目的にしています。

基礎研修では全国共通のテキストを用い、学校歯科医としての共通認識を持ち、「保健概念」「保健教育」「保健管理」「組織活動」に関する基礎的な事項について研修を行っています。

福岡県学校歯科医会では、この基礎研修会と同時に、福岡県学校歯科医新任研修会も併催しています。

福岡県学校歯科医会三箇副会長のご挨拶の後、次のように研修1～4の講習が開催されました。

## 研修1

### 「学校歯科保健の概念を把握する」

福岡県学校歯科医会

専務理事 平瀬 久義



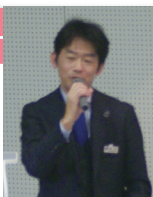
- ①学校教育の目的と理念を理解する
- ②学校保健の中の学校歯科保健の位置づけを理解する
- ③歯・口腔の健康診断を理解する
- ④学校歯科保健計画を理解する

## 研修2

### 「学校歯科保健における保健教育を理解する」

福岡県教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

指導主事 松元 浩一郎



- ①保健教育の領域と構造（内容）を理解する
- ②子供の発達段階に即した学校歯科保健教育のねらいや内容を説明できる
- ③学校における歯科保健教育の内容を理解する
- ④健康診断の事後措置としての歯科保健教育を理解する

## 研修3

### 「学校歯科保健における保健管理を理解する」

福岡県学校歯科医会

理事 松田 宏一



- ①歯・口腔の健康診断を理解する
- ②保健調査の意義を理解する
- ③健康診断結果の分析と評価を行い、健康課題への対応計画を提示できる
- ④学校管理下の傷害について理解する
- ⑤学校保健法に基づく医療券について理解する

## 研修4

### 「学校歯科保健における組織活動を理解する」

福岡県学校歯科医会

理事 一之瀬 達也



- ①教職員の組織、指導体制および校内研修の重要性を理解する
- ②家庭およびPTAとの連携のあり方を理解する
- ③地域の関係機関、団体の連携および学校間の連携のあり方を理解する
- ④学校歯科医とかかりつけ歯科医との連携のあり方を理解する
- ⑤学校保健委員会、地域学校保健委員会について理解する

講師の先生方の熱の入った3時間10分にわたる研修会が終了し、質疑応答の後、修了証が手渡されました。未受講の先生方は、学校歯科医の義務として来年度の基礎研修会を是非受講していただき、明日からの学校歯科保健指導、学校健診に役立てていただきますようお願い致します。





平成  
29年度

# 表彰おめでとうございます

## 福岡県教育文化表彰

日時：平成30年2月17日（土）

場所：福岡リーセントホテル



吉田 大蔵  
(大牟田)



永田 博見  
(八幡)



向坊 成紀  
(八幡)

## 一般社団法人 日本学校歯科医会会長表彰

期日：平成30年3月28日（水） 場所：日本歯科医師会館 1 階大ホール



水野 正敏  
(京都)



山中 雅文  
(京都)



宮城 巧  
(京都)



江頭 博  
(飯塚)



梅崎 伸一  
(飯塚)



川波 和義  
(飯塚)



井樋 豊  
(筑紫)



陶山 仁平  
(筑紫)



田中 良朋  
(筑紫)



大淵 伸隆  
(八女筑後)



内藤 廣司  
(八女筑後)



吉田 治國  
(大牟田)



原田 博延  
(大牟田)



原田 安信  
(大牟田)



多々隈 博  
(大牟田)



茂山 幸雄  
(遠賀中間)

## 一般社団法人 福岡県学校歯科医会表彰者名簿

日時：平成30年3月17日（土） 場所：福岡県歯科医師会館 5 階 大ホール



|              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 一之瀬 達也 (京都)  | 井上 龍彦 (京都)   | 塩次 稔浩 (京都)   | 出水 幹夫 (豊前築上) |
| 相良 立身 (田川)   | 田中 陽一 (飯塚)   | 中村 重雄 (飯塚)   | 松尾 範彦 (飯塚)   |
| 鶴田 勝久 (宗像)   | 拝形 幸司 (筑紫)   | 吉村 雅明 (筑紫)   | 山下 尚也 (筑紫)   |
| 羽野 和信 (朝倉)   | 岩佐 茂美 (浮羽)   | 臼杵 源久 (浮羽)   | 古賀 聖敏 (浮羽)   |
| 佐藤 敬一郎 (浮羽)  | 三浦 正明 (浮羽)   | 大石 昌弘 (八女筑後) | 柴田 毅 (八女筑後)  |
| 宮園 啓治 (八女筑後) | 古賀 弘之 (大川三瀬) | 松崎 省三 (大川三瀬) | 松永 光則 (大川三瀬) |
| 藤田 明弘 (柳川山門) | 杉野 忍 (大牟田)   | 川崎 充則 (小倉)   | 貫 大三郎 (若松)   |
| 鶴田 哲昭 (遠賀中間) |              |              |              |





## 会員表彰 (27名)

|           |            |
|-----------|------------|
| 門司靖廣(京都)  | 渡邊知則(豊前築上) |
| 平塚守(田川)   | 村城信也(田川)   |
| 清水共幸(直方)  | 山田光幸(直方)   |
| 田中敏治(飯塚)  | 中原敏幸(飯塚)   |
| 山本敬太(飯塚)  | 徳永哲彦(宗像)   |
| 鐘ヶ江勝(粕屋)  | 波多江正樹(粕屋)  |
| 原文典(筑紫)   | 森章(筑紫)     |
| 大石真大(久留米) | 宮原誠(久留米)   |
| 藤原浩(八女筑後) | 今里憲弘(大川三潁) |
| 岡野博(大川三潁) | 本多正徳(大牟田)  |
| 平塚元貴(門司)  | 新田洋司(門司)   |
| 花田真和(八幡)  | 宮崎譲(八幡)    |
| 木村昌美(八幡)  | 町田典橘(遠賀中間) |
| 森敏夫(遠賀中間) |            |



## 団体表彰 粕屋歯科医師会



## 物故会員

自 平成29年12月1日 至 平成30年3月31日

ご冥福をお祈り致します

宮城二郎 84才 (田川)

## 公 告

### 平成30年度定時総会(第108回)

日時 平成30年6月16日(土)

午後3時00分

場所 福岡県歯科医師会館

5階 大ホール

## 事業報告

### 歯・口の外傷及びマウスガード講習会

日時 平成30年1月20日(土) 15:00~17:00

場所 福岡県歯科医師会館 4階 404研修室

参加者 会員3名 会員外4名

### 「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会併催

#### 福岡県学校歯科医新任研修会

日時 平成30年2月3日(土) 14:50~18:00

会場 福岡県歯科医師会館 5階 視聴覚教室

受講者 106名

### 研修内容

研修1「学校歯科保健の概念を把握する」

福岡県学校歯科医会 専務理事 平瀬 久義

研修2「学校歯科保健における保健教育を理解する」

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課

指導主事 松元浩一郎

研修3「学校歯科保健における保健管理を理解する」

福岡県学校歯科医会 理事 松田 宏一

研修4「学校歯科保健における組織活動を理解する」

福岡県学校歯科医会 理事 一之瀬達也

## 編集後記

平成29年度の冬は、赤道付近の海水温度が通常よりも低い状態が続くラニーニャ現象の影響か地球規模で異常気象が続きました。

(北部アメリカでの氷点下20℃以下の大寒波、オーストラリアでの40度を超える大猛暑、サウジアラビアでの積雪の観測など) 日本でも日本海側を中心に何度も寒波が襲い、短時間で大量の積雪を記録したせいか雪に慣れた北国の方たちも、大変御苦労したようです。

九州北部豪雨の被害に遭われた皆様方も厳しい冬を過ごされたと思います。まだ、復興、復旧も道半ばです。我々福岡県学校歯科医会も、出来る事は何でも協力していききたいと思います。頑張しましょう。

人間社会では、トランプ問題、北朝鮮問題、平昌冬季五輪、仮想通貨問題など、さまざまな事件、事象がありましたが、自然は季節を忘れず桜の花も咲く時を知り、咲き誇ってきました。新一年生となった児童たちも希望と期待に胸を膨らませ、学校生活を満喫している事だろうと思います。

平成30年度の学校歯科保健活動も、いよいよスタートしました。我々広報委員会も会員の皆様に、有益で正確な情報を提供できるよう努力していききたいと思います。 広報委員会 江口 明宏

## News Letter

### Vol.3

毎年3回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041

福岡市中央区大名1丁目12-43

福岡県学校歯科医会内

TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599

E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp

U R L http://www.fk-gakusi.jp

印刷所 〒812-0065

福岡市東区二又瀬新町12-29

(株)大里印刷センター

TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715